

件名	柏崎刈羽原子力発電所6号機における制御棒駆動系(1本)の不具合について
通報日	平成19年2月4日
概要	<p>当所6号機(改良型沸騰水型、定格出力135万6千キロワット)は、定格熱出力一定運転中ですが、2月4日午後10時30分頃から運転中の定例試験(制御棒駆動系挿入、引抜き試験)を行っていたところ、1本の制御棒(全制御棒は205本)が動作しないことを確認いたしました。</p> <p>このため、同日午後11時4分、保安規定に定める「運転上の制限*」からの逸脱を宣言いたしました。</p> <p>原因については現在調査中ですが、当該制御棒以外の全制御棒(204本)について挿入、引抜きが可能であることを確認したことから、プラントを安全に停止する機能は確保されており、プラントの安全上の問題はありません。</p> <p>*：運転上の制限</p> <p>保安規定では原子炉の状態に応じて、「運転上の制限」や「運転上の制限を満足しない場合に要求される措置」等が定められており、運転上の制限を満足しない場合には、要求される措置に基づき対応することになっています。</p> <p>(平成19年2月5日 プレス発表内容)</p> <p>http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/19020501.pdf</p> <p>http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/19020601.pdf</p>